

伊賀市社会事業協会 2018

2018年3月20日 第36号
発行者
社会福祉法人伊賀市社会事業協会
理事長 西岡 時彦
〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2
TEL:0595-21-5545
FAX:0595-23-6670
URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

「昭和」が終わる

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

会長 森下 達也

来年四月三十日、今上陛下が退位される。平成という元号も、当然その役目を終える。然りながら私の頭の中は、平成との訣別よりも遙かに巨きな、時代を画する瞬間が近付いているという感覚である。然う、日本史上最も長く壮絶な時代「昭和」が本当に終わるのは、昭和天皇の遺志を継がれた今上陛下が三十年かけてそれを果たされ、漸く戦後のお生まれの徳仁親王に譲位される来年五月一日なのではないか。軽口ではなく今年には昭和九十三年であり平成三十年である。畏れ多いことながら、私にとって昭和天皇と平成天皇はあたかも一体だからである。平成天皇は昭和ひと桁のお生まれ、日本が消滅寸前で踏みとどまった戦争と敗戦後を見ながら青春を過ごされた。従って、昭和天皇の苦衷や怒りや後悔や希望を、間近に体感しておられたことであろう。

焼野原から奇蹟のように立ち直った日本ではあるが、東アジアの内分で膨大な犠牲を出したあの昭和動乱の深い陰影と記憶が、敗戦後平成に至る四十余年間の、飽食社会とインフラ建設くらいで易々消え去る筈もあるまい。昭和天皇も平成天皇も、そのことを充分ご承知だったのでないか。ご承知であったからこそ、お二人がかりで鎮魂と安寧に精根をかたむけて下さった謂わばひと続きの七十余年であったのだろう。忘れてほしい日本人の一人として、畏敬の念を禁じ得ない。

私事恐縮ながら、私も昭和ひと桁の生まれである。昭和ひと桁は、凄まじい時代への入り口であった。昭和四年のニューヨーク株式市場大暴落に始まる第二次世界大戦の引き金となった。昭和六年の満州事変は、日中戦争、太平洋戦争、そして敗戦へと続く。昭和天皇はこの流れをくい止め得なかったことを生涯悔いておられたと聞くが、軍部をおさえて戦争を終わらせたのも、昭和天皇であった。

今上陛下が皇太子時代に、世界情勢の経過と、敗戦国日本のかかえる

課題を正確に把握されておられたという感想を、曾て学友から聞いたことがある。繰り返すがこの小文の中で私が申し述べたいのは、昭和天皇と今上陛下がほぼ同じ平面に立って、世界と日本を見ておられたということである。何と戦後七十余年を経て昭和三十五年にお生まれの、所謂戦後のお生まれの徳仁親王が皇位を継承されることになる。若々しい象徴天皇のもとで、この国にどんな未来が拓けるのであろうか。

(前・三重県社会福祉協議会会長)



春の公園 (伊賀市上野公園 城)
松田 昇写真集「風土記」より

新園舎での保育はじまる きれいな保育園 うれしいな

府中保育園

1月22日より、新園舎での保育を開始しました。子どもたちは、明るくきれいな保育室やホール、広い園庭に大喜び。中でも絵本コーナーには「このお家(DEN)の中でおはなししよう」「このベンチに座って、一緒に絵本読もうか」と、子どもたちが集まり、楽しみな空間となっています。

ランチルームでは、幼児組と一緒に給食を食べ、異年齢交流の場にもなっています。子どもたちは「いい匂いがしてきたね。今日の給食、何かな」と、ガラス越しに給食ができる様子をつれしそつに見ています。

4月からは定員140名いっぱいまで人数も増え、子どもたちの歓声が響きわたることでしょう。これからも保育園が、子どもたちの安心できる居場所となり、一人ひとりが大きく成長していつてくれるよう、見守っていききたいと思います。(関連記事8ページ)



ウッドデッキであそぶ子どもたち



大人気のDENエリア



「みんなで食べるとおいしいね」

将棋に夢中

放課後児童クラブ 第2風の丘

中学生プロ棋士である藤井聡太六段の活躍と共に、第2風の丘に将棋ブームが訪れました。

卓上将棋盤で回り将棋や将棋崩しなどを楽しんでいる子どもたちの姿を見た指導員が、脚付将棋盤を譲ってくれました。以来、子どもたちは、本格的な将棋の対局に夢中です。

ルールがわからない時は、友だち同士で教え合ったり、『ひふみんの将棋入門』を見たりしています。「その手はいいね」「そこは打ったらあかん」とギャラリも真剣なまなざしで友だちの対局を見守っています。



「この手はどうだ」

放課後児童クラブ

『ウイングうえの』

平成30年4月から、府中保育園新園舎の東隣にある放課後児童クラブ『ウイングうえの』を当法人が運営することになりました。

安全な環境を整え、子どもたちが充実した放課後生活を過ごせるよう、職員一同努力してまいります。



4月より運営を引き継ぎます

「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」

—キャラバンカーがきたよ—

曙保育園

「おはなし隊ってどんなのかな?」と、ワクワクしながら待っていた子どもたち。大きなトラックが入ってきて扉を開くと、550冊の絵本が並び、あつという間に素敵な絵本の部屋に早変わり!

「わあ〜すごい、さっきまでトラックやったのに!」本屋さんみたいで楽しそうと、ビツクリした様子でした。どれにしようか選ぶ姿も、何だかいつもより嬉しそうでした。子どもたちにとって、今回のたくさん絵本との出会いはとても楽しい時間になり、ますます絵本が大好きになったようです。



絵本選びに夢中の子どもたち



絵本をいっぱい積んだキャラバンカー



まずはみんなでジャングル体操

『心身ともに健康的な生活をめざして』

睦保育園

11月28日、三重県社会福祉協議会主催により『心身ともに健康的な生活をめざして』から子育てを通して』をテーマに、公開保育を実施しました。

毎日、異年齢児で続けている「にんにんタイム」では、ボール送りや、くねくね走りをして楽しく体を動かしました。その後、各クラスに分かれて、ことばあそび、サーキットあそびなど、年齢発達に応じた活動を見ていただきました。

この公開保育を経験することで、環境を見直したり、話し合いを重ねました。今後も質の向上につとめてまいります。



「こんなに速く走れるよ!」

普通救命講習会開催

子どもの命を救うために

施設安全推進委員会

施設安全推進委員会主催の普通救命講習会を開催し、心肺蘇生法とAEDの操作方法など、救急車が到着するまでの救命処置を実習しました。

胸骨圧迫の基本は「強く・早く・絶え間なく」であり、居合わせた者が連携し、落ち着いて確実にこなす必要があると。子どもの命を救うためには、職員の瞬時の判断と行動がいかに大切かを改めて感じました。

これからも定期的に講習会を開催し、多くの職員が、いざという時に適切な行動がとれるようにしたいと思います。



真剣に学ぶ受講者

権利擁護委員会の取り組み

「職員の心をひとつに」

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

梨ノ木園では、権利擁護委員会が中心になり、定期的に勉強会を行なっています。昨年度は、ご利用者への声掛けや日常生活の質を高めていくことを目標に掲げました。今年度は、さらに言葉を伝えることの大切さを学ぶため、言葉遣いに関する検討を実施しました。

まずは、職員の思いや意見を共有できるように、事前に職員にアンケートを行ないました。「ご利用者とのコミュニケーションに悩んでいる」「他の職員の言動に問題があると感しても言い出せないことがある」という意見があり、この結果をふまえ、グループに分かれて話し合いました。仲間と意見を交わすことで、自分にはない考え方を知ることができました。問題解決につなげていくために職員全員が同じ方向を目指し、共通の意識や考えを持つことの重要性、そして相談・報告がしやすい環境作りも大切であることを学びました。

特に、「視覚障がい者の施設において」「言葉掛けの質を高めること」は大きな課題です。ご利用者への理解を深め信頼関係を築けるよう、お一人おひとりの気持ちに寄り添った、優しく丁寧な言葉掛けをしていきたいと思えます。



勉強会の様子



舌の運動「べ〜〜っ」

「ご飯をおいしく食べよう!! 嚥下体操

身体障害者支援施設 梨丘園

食事が一番大切な「噛む」飲み込むという機能の低下を防ぐため、口腔ケアチームが中心となり嚥下体操を行なっています。

昼食前の5分間、顔のマッサージや、「パ」「タ」「カ」「フ」の4音を発声し、食べるために使う筋肉をトレーニングするパタカラ体操を行なっています。皆さんが楽しくでるよう、歌に合わせたり、絵で表現したりしています。

2か月が経ち、早目に食堂に來られ積極的に取り組む方も増え、むせ込みが軽減された方など、少しずつ変化が見え、私たちも手ごたえを感じています。「顔のシワも伸びるかなあ」と効果を期待する声も聞かれました。「美味しく楽しめる食事をいつまでも…」その気持ちを大切に、これからも続けていきたいと思えます。



マッサージしてみんなでおいしくご飯を食べよう!

手作りケーキの誕生日

老人デイサービスセンターなしのき



「今日の主役は私よ」

当センターでは、ご利用者のお誕生日に、手作りのケーキでお祝いをしています。ドキドキしながらロウソクの火を吹き消すご利用者の周りには、みんなの笑顔が溢れます。

主役になった方は、他のご利用者からの視線を感じながら大きなケーキを口にされますが、照れくさそうに喜んでおられるご利用者の姿を見るのは、職員にとっても嬉しい瞬間です。

一年に一度の誕生日、何歳になっても子どもの頃のようなワクワクを感じていただきたいと思います。

老人施設の年末年始



盲養護老人ホーム 梨ノ木園

老人デイサービスセンター なしのき



笑う門には獅子来たる

クリスマスツリーの飾りつけ



無病息災を願って

「かわいいツリー、いっぱいできたよ」



「おとっと! おおきに」



今年の願いも「健康で長生き！」

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

元日に毎年恒例の新年祝賀会を行ないました。ご利用者の皆さんに今年の抱負を聞かせていただくと「やっぱりこの年になると健康かなあ」と語られました。また「皆さんのおかげで元気に過ごしています。今年もどうぞよろしくお願いいたします」と、職員へエールを送ってくださいる方もいました。その後、園長から振る舞われたお屠蘇と、和菓子で新年をお祝いしました。

午後からは、カルタや福笑いなどの正月遊びを楽しみました。「昔、やったなあ」「懐かしいわ」と話されながら、ゆったりと過ごされていました。

伊賀白鳳高等学校の実習生受け入れ

障害福祉サービス事業所 かの木ひろば



きれいに咲いてね

昨年から、ヒューマンサービス科の介護福祉士養成施設として、実習生を受け入れています。

実習生の皆さんは、将来は介護福祉士として働きたいと、いろいろな思いをつのらせながら、通所事業と訪問事業の介助体験を重ねています。

「ヘルパーの仕事を知りたい」「障がい者の方と楽しく関わりたい」「その人の希望する内容の支援がしたい」と積極的に取り組む実習生から、将来一人でも多くの仲間がふえるとうれしいです。

点訳・音訳ボランティア合同研修会 上野点字図書館



「点字毎日」編集長・三角真理氏

11月8日(水)、点訳及び音訳ボランティアの親睦を兼ねた研修会に、「点字毎日」編集長・三角真理氏をお迎えして、講演会を開催しました。

「点字毎日」は毎日新聞社が発行する点字の週刊新聞で、1922(大正11)年に創刊されてから90年以上、戦時中も震災時にも発行を続け、視覚障がい者からは「点毎」という愛称で親しまれています。

講演会では、新聞記者として多方面にわたって活躍される三角氏の専門的立場からのお話や感性に溢れたご見解を聞かせていただきました。

起震車体験

当施設では、防災・防犯訓練を、毎月行なっています。12月には三重県防災対策部と伊賀市消防本部のご協力をいただき、地域の老人クラブの皆様と一緒に、起震車体験を行いました。

はじめに県の防災対策部の方より「東南海地震等や日頃の防災について」の話を聞かせていただき、その後、起震車を使って実際の揺れを体験しました。起震車は車イスに座ったまま乗車が可能で、最大震度5弱の揺れを実際に体感したご利用者からは、「初めは大丈夫と思ったけど、揺れが激しくなると怖かった」「激しく揺れたので、動けなかった」などの声が聞かれました。

実際に揺れを体感することで、日々の避難訓練にも活かせる良い機会になりました。



防災について話を聞くご利用者



「すごい揺れ!!」

◆ご支援ご協力いただいている方々◆

(平成 29年 8月～平成 30年 2月)

個人

—敬称略・五十音順—

- 五百田 洋紀、石山 淑子、伊藤 嘉枝子、伊藤 利史、稻森 千鶴子、稻森 律子、井上 操、上杉 美知代、上野 庸、上林 修平、岡田 充恵、岡森 明彦、岡森 眞理子、奥村 美恵、小澤 ひとみ、小田 吉昭、貝増 恒子、片山 明子、勝 真由美、勝島 眞佐子、門田 進、神村 久仁江、川上 一生、岸田 多美喜、佐々木 聖子、澤木 敦子、葛岡 仁利、葛原 良和、後藤 のぶ、権蛇 忠喜、田中美代子、田山 紗知子、塚本 初子、津田 美恵、戸上 宗賢、富田 高平、豊岡 百子、豊田 實、中山 礼子、中川 定子、中村 節子、中村 信通、平嶋 さやか、藤井 充子、中井 英夫、中井 洋美、林 みち子、原田 和人、平井 源子、堀池 良一、前 博敏、松岡 秀行、松田 雅子、松永 清、堀池 克昌、松本 幸治、松本 学、水野 富子、水野 文子、水船 敬太郎、南 久子、百中 美正、森 令子、森井 久美子、森岡 佑子、森下 弘子、森中 一美、矢口 千又代、山門 行雄、山口 義美、山本 清子、山本 泰代、弥村 藤樹、米田 美紀子

団体

—敬称略・順不同—

- 上野点訳奉仕グループあり、上野音訳グループのひび、名張点訳グループあり、名張音訳グループのひび、上野点訳図書館朗読ボランティア、ボランティアグループミックスジュース、絵本ボランティア「ももこ」、ちいさなネコ、フラ オモアニケアラ、じいろの会、伊賀上野ライオンズクラブ、伊賀北ライオンズクラブ、上野ロータリークラブ、伊賀市シルバー人材センター、伊賀市更生保護女性の会、伊賀市視覚障害者福祉会、旧小田小学校、煙草俳句会、蕉門ホール「語り部塾」、百合の会、人形劇クラブマンマミタ、にんじんクラブ、三田コーラス、あけぼの学園高等学校、伊賀白鳳高等学校、上野高等学校、岡波看護専門学校、長田小学校、印代地区、大滝地区、桂地区、朝霞地区、治田地区、花之木地区、予野地区、明日が楽しみな里づくり委員会、猪田地区住民自治協議会、上野徳居町徳寿会、上野福居町自治会、大野木ゆうゆうクラブ、小田地区市民センター、小田町住民自治協議会、神戸老人クラブ連合会、木根団地自治会、白煙自治会、朝霞老人クラブ、寺町ふれあいいきいきサロン、寺町老人会、友生地区住民自治協議会、友生老人クラブ、中瀬老人クラブ、西三田100円サロンふれあい、花之木市民センター、花之木社会福祉協議会、府中地区市民センター、古山地区住民自治協議会、三田地区住民自治協議会、緑ヶ丘本町老人クラブ、ゆめが丘地区民生委員児童委員、ゆめが丘地区有志の皆様、安立寺、射手神社、西蓮寺、田守神社、常住寺、平井神社、いがの里、おおやまた鶴寿園、こうかつ苑、名張育成会、名張特別養護老人ホーム、ひとみ園、阿波設計事務所、伊賀上野ケーブルテレビ、伊賀北部農業協同組合、石原園、今岡穀店、N.T.T.ドコモOB、岡三アセットマネジメント、小川整備、奥田理容店、金谷、鎌刈乳敷、甲野屋、サンシヨク、JA小田ふれあい店、シャクエツ、親和工務店、第一生命労働組合三重営業職支部、谷本洋陶房、トヨタL&F中部、中森新聞舗、NAC、鍋本商店、西尾デンキ、白鳳電工、はっぴーふぁーむ朝屋、ひかりのくに、福田豊工務店、マルソウ、ミニストップ、村脇電気、名阪上野ドライブイン、名阪設備工業、八百市青果店、米岡家具センター

余暇活動で

リフレッシュ!

当法人職員の相互共済並びに親睦福利増進を目的とした職員互助会では、種々の活動を行なっています。今年度は役員が一新、新体制で活動がスタートし、ドッチビー大会やハーバリウム教室などを開催しました。

また、サークル活動も、「コーラス」「ソフトボール」「フットサル」に加え、新たに「キンボール」や先生をお迎えしてご指導いただき、「俳句クラブ」など、それぞれに充実した活動を楽しんでいます。

保育・高齢者・障がいと、異なる施設に勤務する職員が、業種や年齢を越えて交流しながら、さまざまな活動に熱中し、心身共にリフレッシュしています。



ビンゴゲーム大会

ハーバリウム教室

平成29年度表彰及び感謝状受賞者

厚生労働大臣表彰

盲養護老人ホーム梨ノ木園 園長 数内 勝

全国社会福祉協議会会長表彰

花之木保育園 園長 松本 道代

三重県知事表彰

特別養護老人ホーム第二梨ノ木園 副園長 宮崎 幸代

編集後記

書店で、「日本懐かしお菓子大全」という本を見つけ、衝動的に買ってしまいました。この本を見てみると、少年時代の記憶と純粹な気持ちが蘇ってきます。

懐かしいという感情は、心を癒す効果があります。時には感傷的になることもあります。『さまざまの事おもひ出す桜哉』45歳の芭蕉が、藤堂家の花見の宴で青年時代を懐古して詠んだ句です。この「さまざま」という4文字には、主君藤堂良忠の早世により、侍の道を諦め、俳諧の世界で生きる決心をした当時の不安や葛藤など、万感の思いが込められています。近頃では味き乱れる桜を見ても、「インスタ映え」の一言で終わりそつで残念ですが…。

さて、今後も充実した内容の会報を発行し、「いいね」と言っていただけのように努力いたします。(編集子 M)



府中保育園竣工

心身ともに健やかな成長を願って

1月13日、府中保育園さくらんぼホールにおいて、伊賀市長様はじめ関係者の皆様方にご臨席を賜わり、改築竣工式を執り行ないました。ご来賓の方々からは、温かいご祝辞を頂戴し、5歳児による歌の披露やくす玉開きが式に華を添えました。また同日午後には内覧会を開催し、園内は約300組の地域の皆さまや、保護者の方々で賑わいました。老朽化等により3月末で閉所される市立佐那具保育所と統合されることとなり、元の市立府中小学校跡地に、定員140名の保育園として移転改築した新園舎は、平家建てで、職員室からは全部屋を見渡せます。また、全ての保育室からウッドデッキへと通じ、園庭へ出ることができます。園庭には四季折々の木々が植えられ、築山もあり、自然に親しみながら外遊びを満喫できます。さらに、遊戯室は移動間仕切りで分割して工作ルームとして利用したり、エントランスホールと一体にするなどで、広く開放的な空間としても活用できます。

今は、府中保育園の園児だけが新しい保育園で過ごしていますが、子どもたちは、4月に統合する佐那具保育所のお友だちと一緒に、いろいろな活動ができることを、とても楽しみにしています。



あなたの名刺を バリアフリーにしませんか

上野点字図書館

上野点字図書館では、お手持ちの名刺に点字でお名前などを印刷するサービスを始めました。

名刺に点字が入っていれば、目が見えない、見えにくい方でも読むことができます。いつも使う名刺で優しさの輪が広がり、点字や視覚障がいへの理解が深まることを願っています。

この機会に是非、あなたの名刺もバリアを外してみませんか。

【お問い合わせ・お申し込み】

上野点字図書館 〒518-0851 伊賀市上野寺町1-184-2
TEL/FAX: 0595-23-1141



当法人の施設

- 盲養護老人ホーム
- 訪問介護事業所
- 特別養護老人ホーム
- 老人ショートステイ
- 老人デイサービスセンター
- 在宅介護支援センター
- 診療所
- 療育所
- 梨ノ木のき
- 第二梨ノ木のき
- なしのき
- 梨ノ木診療所
- 曙保育園
- 三田保育園
- 中瀬城東保育園
- 友生保育園
- 花之木保育園
- 予野保育園
- 長田保育園
- 古山保育園
- みどり保育園
- ひかり保育園
- みどり第二保育園
- 府中保育園
- ゆめが丘保育所
- 心身障害児療育施設
- 日中一時支援事業所
- 放課後等デイサービス事業所
- 放課後児童クラブ
- かしのみ園
- ヴェルデのウ
- ヴェルデのウ
- キッズうえの
- ふ和た
- 成和東西
- フレンズうえの
- 第2フレンズうえの
- 風の丘
- 第2風の丘
- 梨ノ木のき
- 梨ノ木のき
- ヴェルデのウ
- かしの木ひろば
- かしの木ひろば
- かしの木ひろば
- (行動支援・同行支援)
- 上野点字図書館
- 伊賀市盲人ホーム
- 法人本部事務局



—あなたが読んだ絵本を子どもたちは一生忘れない—

保育士 募集中!

保育士資格がない方も保育補助として働いていただけます

お問い合わせ 法人本部事務局 ☎0595-21-5545



社会福祉法人
伊賀市社会事業協会
www.iga-sjk.or.jp/



伊賀市社会事業協会

検索